令和８年度「家族とのふれあい川柳」入賞作品一覧

【小学生の部】

賞	作品（川柳）	学校名（市内）	学年	作者コメント
最優秀	帰ったら　何から話そう　急ぎ足	吉和小学校	５年	今日あったことや、楽しかったことを、家族に話したりするのが楽しみだという、私の気持ちを表現しました。
優秀	テレビオフ　家族の時間が　スイッチオン	栗原北小学校	６年	私がこの作品にした理由は、テレビをオフにして、家族との関りをオンにすることが、一番楽しくていい時間につながるということを、みんなに伝えたかったからです。
優秀	さんぽみち　家族ではっけん　たから物	重井小学校	３年	ぼくが、このせんりゅうをおもいついたきっかけは、夕がたにさんぽしているとき、クワガタムシをみつけたのがうれしくて、心にのこったからです。
入選	前よりも　大きくなった手　つなごうよ	栗原北小学校	６年	この前、お母さんと手の大きさをくらべた時に、前よりも大きくなっていたから、自分の成長を表したかった。
入選	スマホ置き　家族の顔が　咲く時間	高須小学校	５年	私がこの作品に対して思ったことは、スマホを置いて家族と話していると、だんだんとスマホをわすれて、いつのまにか、楽しい時間になっていました。
入選	ぼくの犬　テレビみてると　消してくる	向島中央小学校	６年	ペットは、テレビじゃなくて、さんぽにつれていってほしいのだと思います。だから、それからは、テレビの前にさんぽに行くことにしました。
入選	ひさしぶり～！　目線が同じ　おおばぁば	高須小学校	４年	遠くに住むひいばあちゃんに、久しぶりに会いに行き、一緒にお出かけしていると、背が同じことに気づきました。元気で長生きしてくれている、ひいおばあちゃんに感謝です。

【中学生の部】

賞	作品（川柳）	学校名（市内）	学年	作者コメント
最優秀	家族には　ＡＩにはない　愛がある	向島中学校	１年	家族はいつも真剣に私のことを考えてくれる。両親は優しく、姉は相談に乗ってくれたり、一緒に笑いあえる仲。私は、そんな家族が大好きです。
優秀	何気ない　会話ひとつが　宝もの	高西中学校	３年	毎日ご飯を食べながらする家族との何気ない会話で、笑顔になれるし、楽しいから、この時間は自分にとって大切な時間で、宝物だと思ったからです。
優秀	家族って　いちばん近い　応援団	高西中学校	２年	いつも、困ったときや落ち込んだとき、すぐに助けてくれて、私のいろいろなことを一番に応援してくれる家族に、感謝の気持ちをこめて書きました。
入選	スマホより　充電すべきは　家族愛	御調中学校	３年	スマホを使用しすぎて充電するより、もっと充電すべきものが身近にあるという思いを込めてつくりました。
入選	五文字でも　笑顔広がる　「ありがとう」	高西中学校	３年	「ありがとう」という短い言葉でも、笑顔をつくることができるので、感謝を伝えることは、とても大切だと思いました。
入選	おかえりと　むかえてくれる　ありがたさ	高西中学校	３年	帰ったら「おかえり。」と毎日むかえてくれる母に、今日あった出来事を話すのが日課です。私の毎日の楽しみを作品に込めました。